

## 「全国学生調査（第 4 回試行実施）」における主な改善案

### （1）参加校数増加及び回答率向上

#### （現状と課題）

全国学生調査は、令和元年、3年、4年度の計3回の試行実施を行っているところ、令和4年度「全国学生調査（第3回試行実施）」では、参加校は大学68%、短大47.9%であり、回答率は大学10.6%、短大27.9%（集計基準合致学部は大学31.7%、短大31.6%）であった。

#### （改善案）

##### A) 調査方法

従来の文部科学省が実施するインターネット（WEB）調査（調査方法①）に加えて、参加大学が実施する学生調査（調査方法②）においても実施できることとし、各大学において調査方法を選択。

##### B) 調査実施時期

令和6年10月～令和7年3月（約6か月間）のうち、各大学において1か月程度の期間設定を推奨。調査方法②の調査実施時期は、各大学の判断で令和6年度中に設定することができることとする。

##### C) 質問項目

質問数48問を33問に精査するとともに、学生にわかりやすい簡潔な問に修正。

なお、追加アンケート結果で、試行実施から本格実施で質問項目が変化することを懸念する声が複数あったことも踏まえ、本格実施においては、当面、原則として第4回試行実施の質問項目から変更しない方針とする。

## (2) 調査結果の活用促進

### (現状と課題)

令和5年秋に実施した「全国学生調査（第4回試行実施）」の実施に関するアンケート結果では、ほとんどの大学等において全国学生調査の結果が活用されていないこと（自主的な情報公表／大学：1.8%、短大：0.9%、教学IR／大学：21.8%、短大：16.1%）が明らかになった。

さらに、令和6年春に実施した追加アンケート結果では、多くの大学で調査結果の活用に係る体制整備や業務遂行に課題を抱えていること（自主的な情報公表／大学：47.2%、短大：49.3%、教学IR／大学：46.9%、短大：49.3%）が明らかになった。

### (改善案)

#### A) 国による情報公表（ポジティブリスト）

文部科学省において、各質問項目の上位校（ポジティブリスト）（参考1参照）とあわせて、上位校の教育方法や教育改善のグッドプラクティス事例を公表。ただし、一定の回答数（集計基準に基づき算出）を超えた大学を公表対象とする。また、分野特性による影響を考慮して、原則として、分野別（一定数の母集団が得られることが前提）にリスト化することとする（参考2：令和4年度「全国学生調査（第3回試行実施）」学部（学科）分野別の回答状況）。

#### B) 教学IR等の活用促進

全国学生調査の結果をまとめる教学IRレポートの雛形（参考3参照）を各大学に提供し、教育改善への活用を促す。

## 〇〇分野

## 理解がしやすいように教え方が工夫されていた

No.	大学名	学部	スコア	回答数	回答率
1	A大学	xx学部	xx	xx	xx%
2	B大学	xx学部	xx	xx	xx%
3	C大学	xx学部	xx	xx	xx%
4	D大学	xx学部	xx	xx	xx%
5	E大学	xx学部	xx	xx	xx%
6	F大学	xx学部	xx	xx	xx%
7	G大学	xx学部	xx	xx	xx%
8	H大学	xx学部	xx	xx	xx%
9	I大学	xx学部	xx	xx	xx%
10	J大学	xx学部	xx	xx	xx%

## 理解がしやすいように教え方が工夫されていた

No.	短期大学名	学科	スコア	回答数	回答率
1	A短期大学	xx学科	xx	xx	xx%
2	B短期大学	xx学科	xx	xx	xx%
3	C短期大学	xx学科	xx	xx	xx%
4	D短期大学	xx学科	xx	xx	xx%
5	E短期大学	xx学科	xx	xx	xx%
6	F短期大学	xx学科	xx	xx	xx%
7	G短期大学	xx学科	xx	xx	xx%
8	H短期大学	xx学科	xx	xx	xx%
9	I短期大学	xx学科	xx	xx	xx%
10	J短期大学	xx学科	xx	xx	xx%

令和4年度「全国学生調査（第3回試行実施）」  
学部（学科）分野別の回答状況（集計基準合致学部（学科））

## 【大学】

区 分	対象学部数	対象学生数	有効 回答者数	有効回答率
人文	85 学部	56,722 人	9,115 人	16.1%
社会	130 学部	102,130 人	14,708 人	14.4%
理学・工学	107 学部	95,807 人	13,224 人	13.8%
農学（6年制）	1 学部	67 人	42 人	62.7%
農学（4年制）	28 学部	17,849 人	3,294 人	18.5%
医学（6年制）	16 学部	3,909 人	1,333 人	34.1%
歯学（6年制）	5 学部	933 人	403 人	43.2%
薬学（6年制）	16 学部	6,036 人	1,720 人	28.5%
保健（看護・医療 技術など）	119 学部	40,717 人	13,029 人	32.0%
家政	26 学部	12,794 人	2,958 人	23.1%
教育	57 学部	31,632 人	6,334 人	20.0%
スポーツ	5 学部	4,827 人	1,434 人	29.7%
芸術	15 学部	7,833 人	1,812 人	23.1%
その他	50 学部	36,548 人	5,059 人	13.8%
計	660 学部 (31.7%)	417,804 人	74,465 人	17.8%

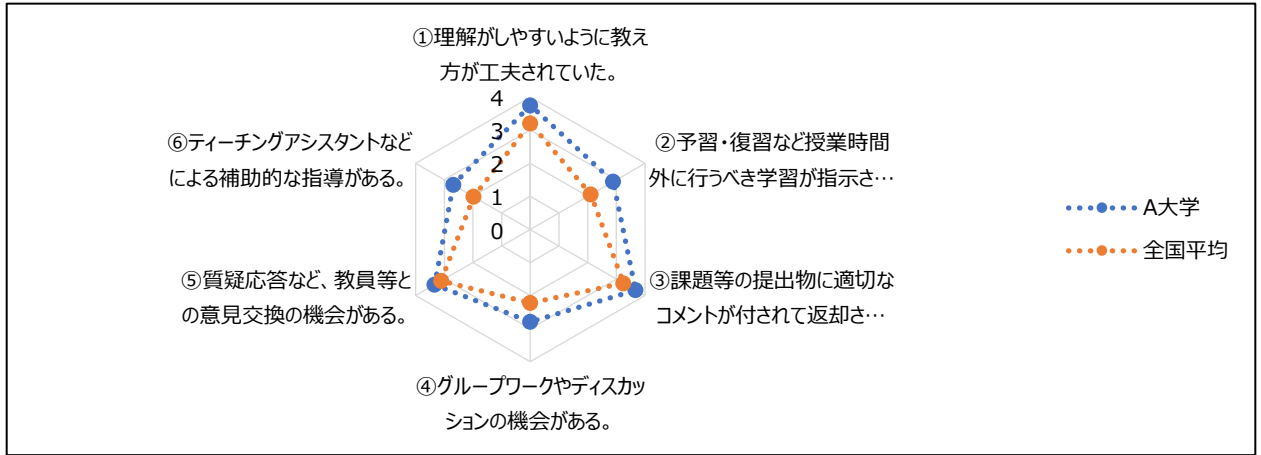
【短期大学】

区 分	対象学科数	対象学生数	有効 回答者数	有効回答率
人文	5 学科	329 人	186 人	56.5%
社会	14 学科	790 人	476 人	60.3%
理学・工学	3 学科	323 人	160 人	49.5%
農学	1 学科	37 人	21 人	56.8%
保健	12 学科	936 人	594 人	63.5%
家政	13 学科	1,003 人	714 人	71.2%
教育	34 学科	3,194 人	2,140 人	67.0%
芸術	5 学科	225 人	146 人	64.9%
その他	6 学科	665 人	321 人	48.3%
	93 学科 (31.6%)	7,502 人	4,758 人	63.4%

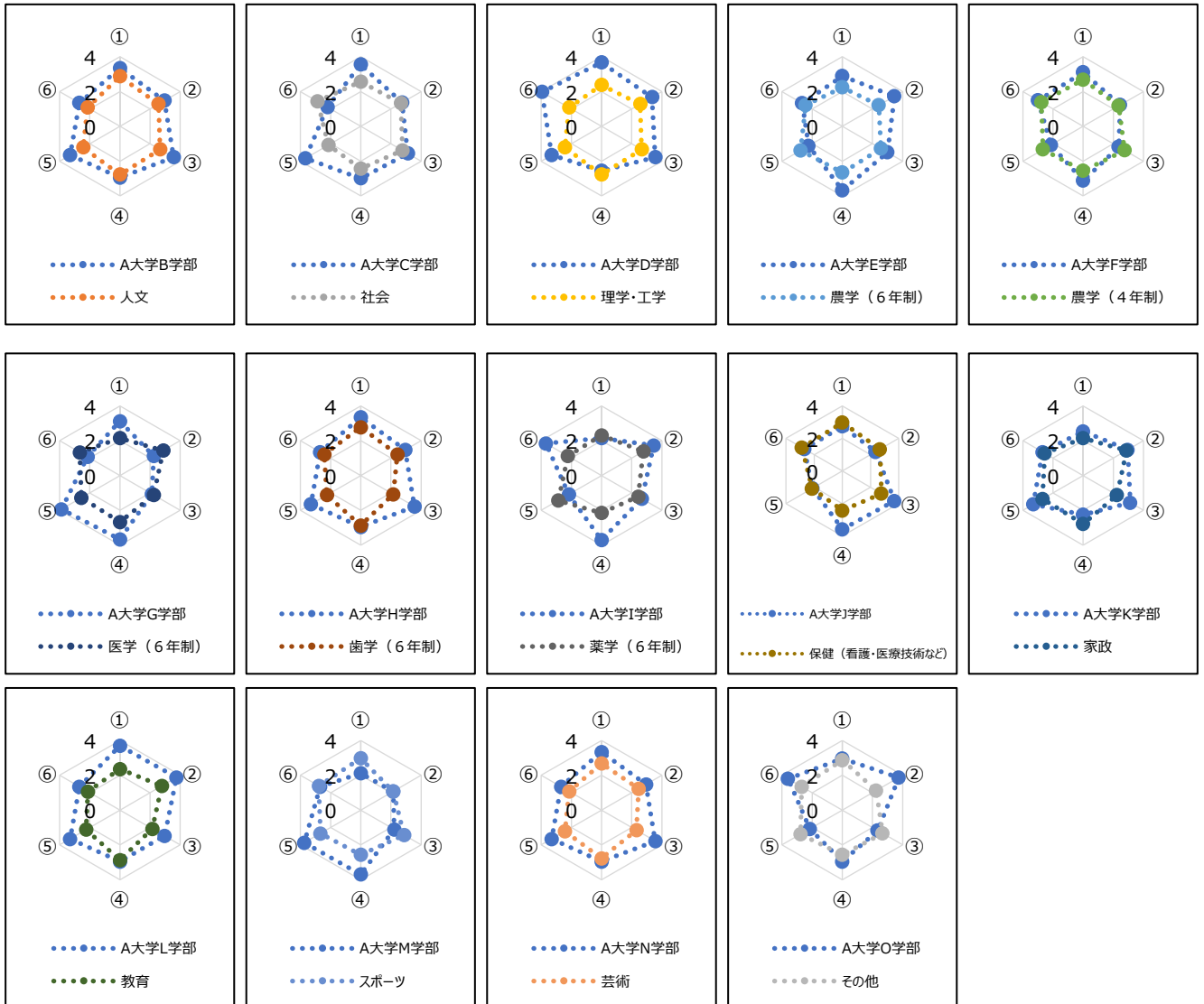
大学： **A大学**

問1 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。

<A大学と全国平均との比較>

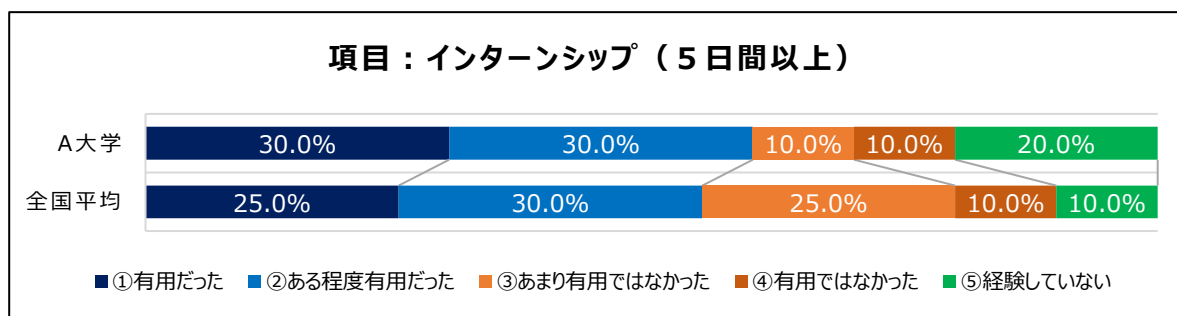


<A大学の各学部と分野平均との比較>

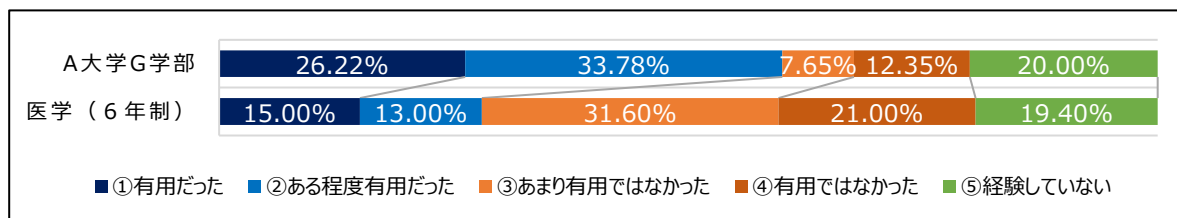
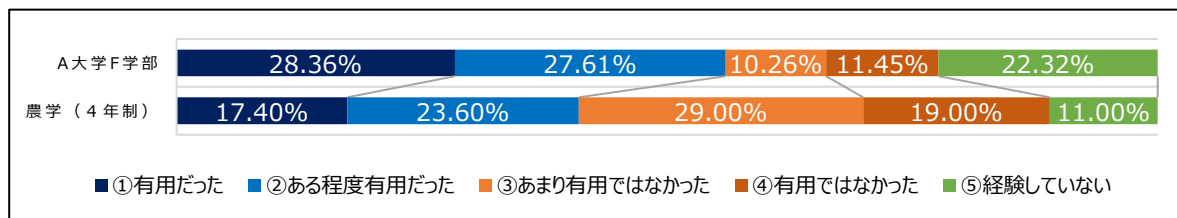
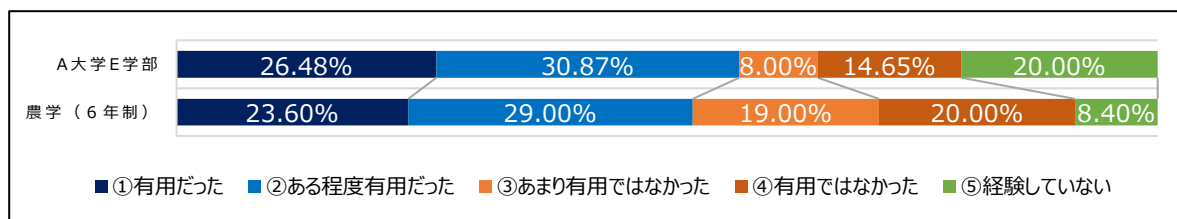
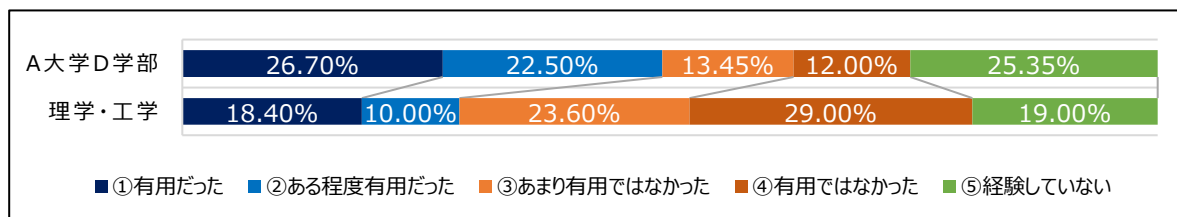
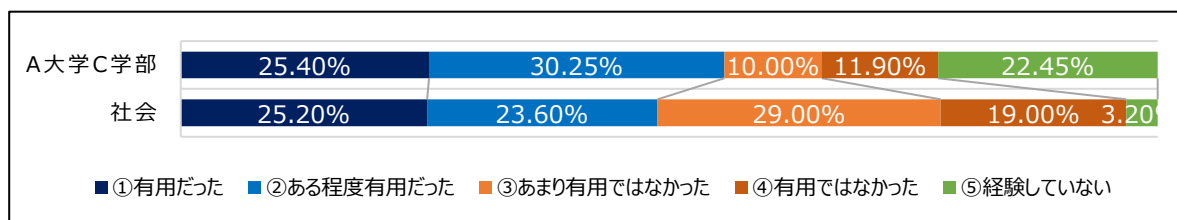
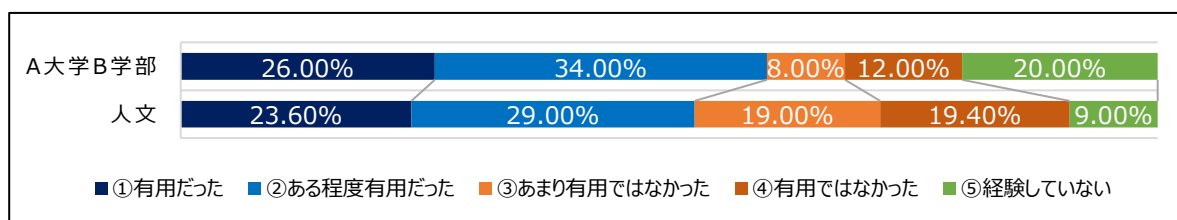


問2 大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか。経験していない場合は⑤を選択してください。

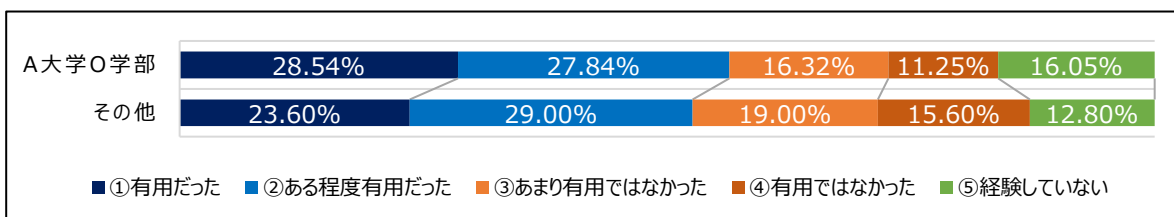
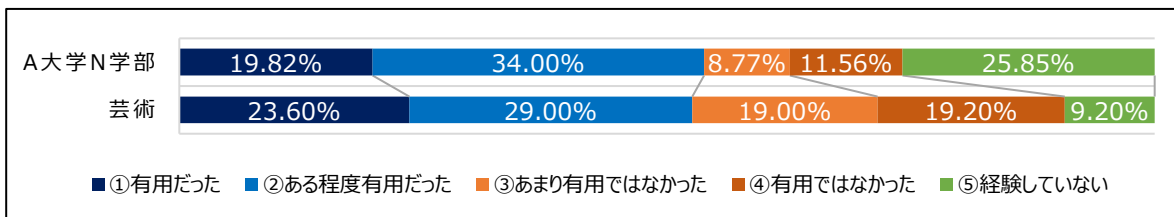
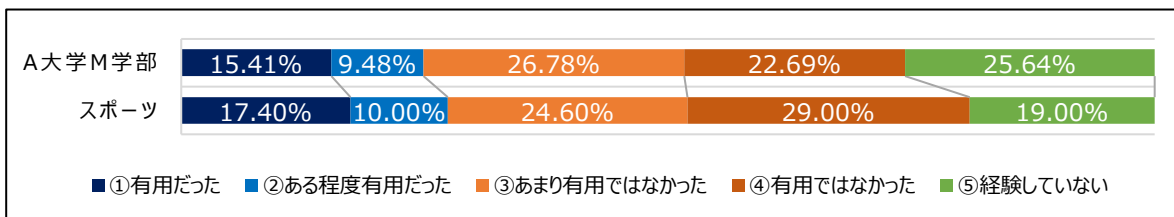
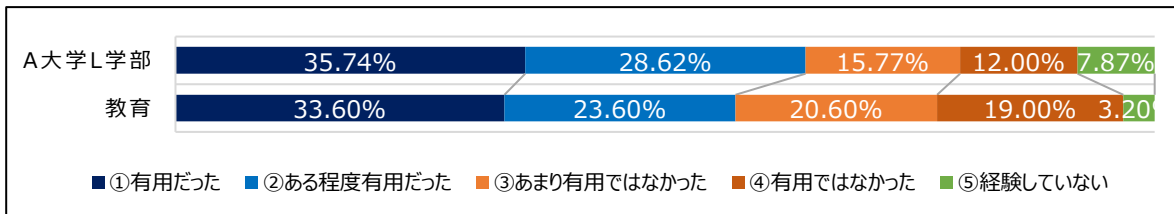
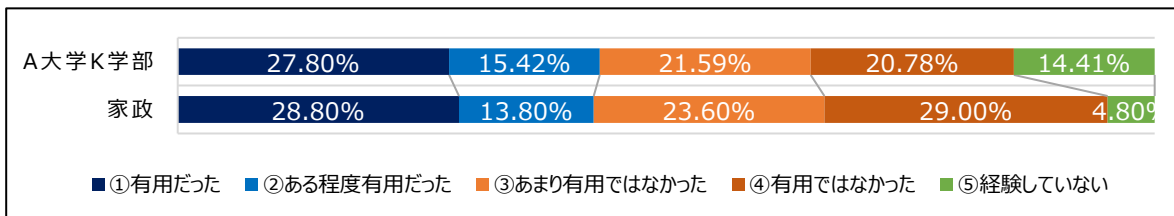
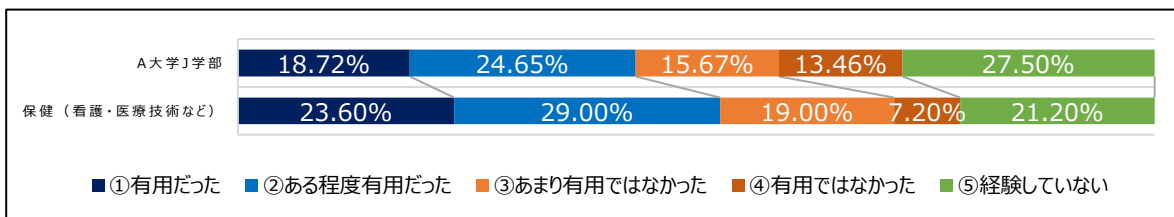
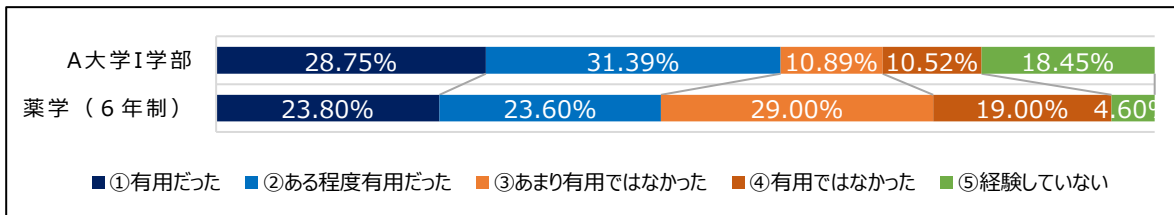
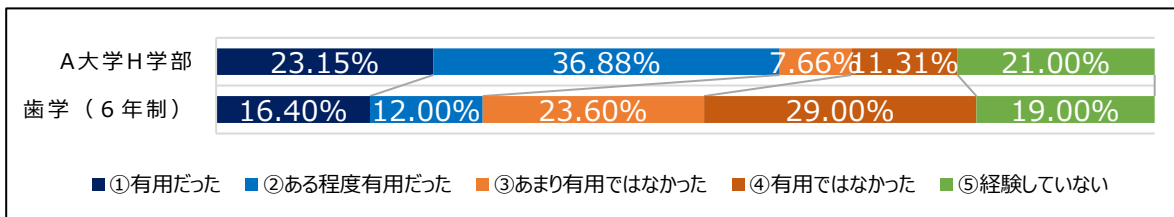
## <A大学と全国平均との比較>



## <A大学の各学部と分野平均との比較>



# 令和6年度「全国学生調査（第4回試行実施）」 教学IR様式イメージ

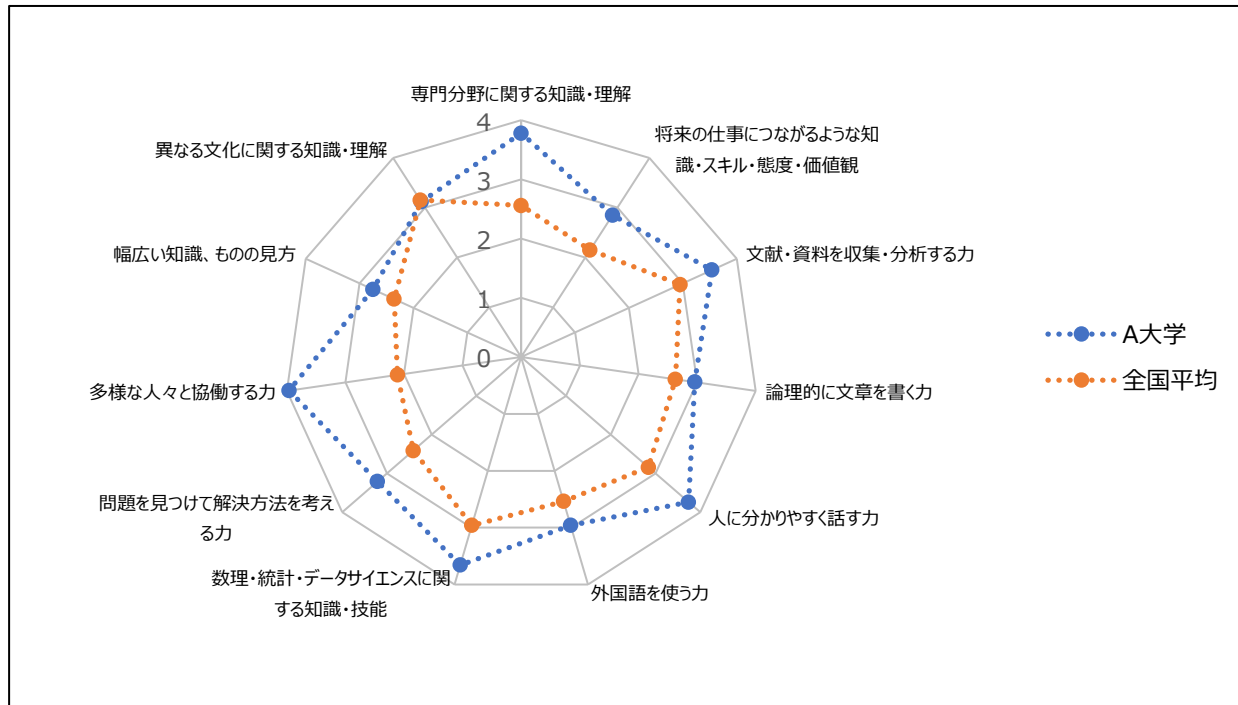


※上記項目の他、「海外留学・海外研修（短期も含む）」、「主に英語で行われる授業の履修（語学科目を除く）」、についても同様に掲載。



問3 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。

<A大学と全国平均との比較>

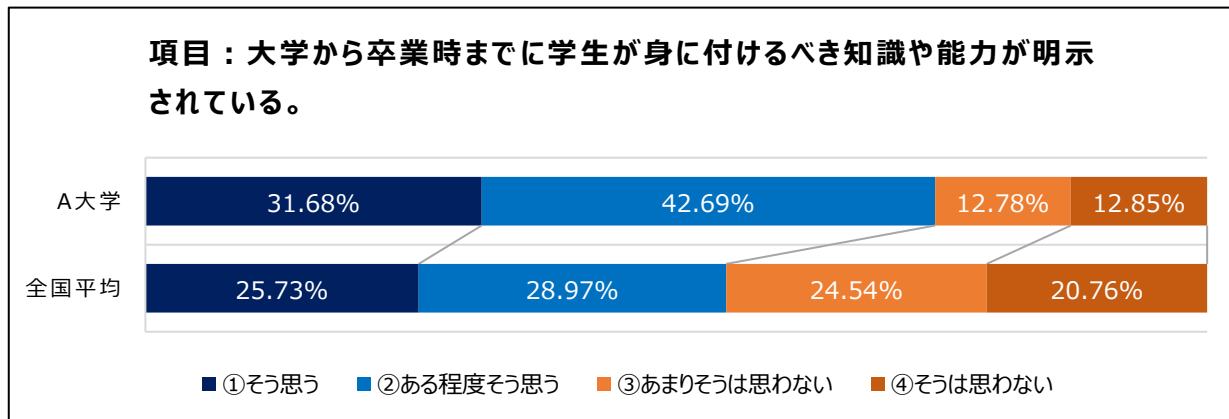


<A大学の各学部と分野平均との比較>

※問3についても、問1（1ページ）同様、学部分野ごとにレーダーチャート形式で掲載。

問4 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。

<A大学と全国平均との比較>



<A大学の各学部と分野平均との比較>

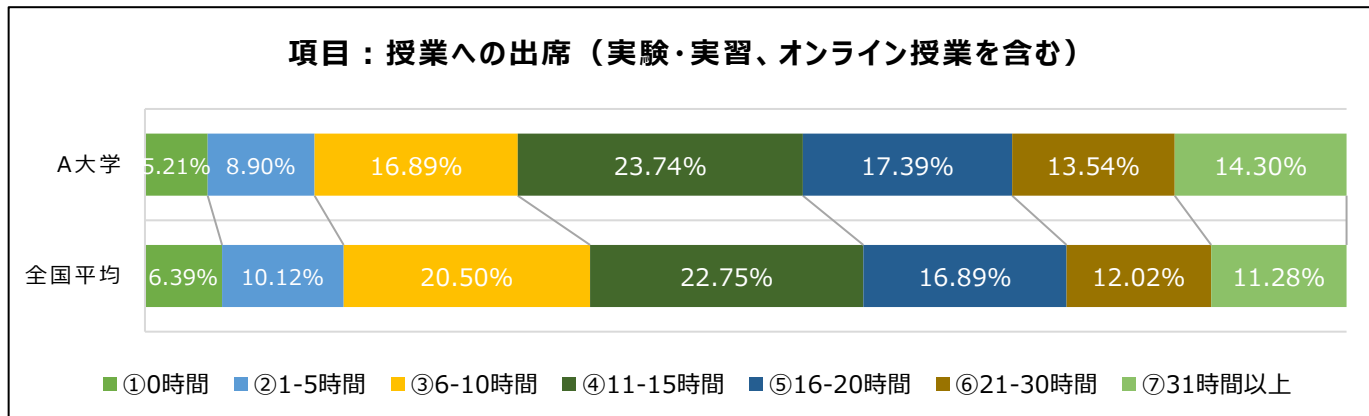
※問4についても、問2（2～3ページ）同様、学部分野ごとにグラフ形式で掲載。

※上記項目の他、「授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。」「教職員が学生と向き合って教育に取り組んでいる。」「大学での学びによって成長を実感している。」についても同様に掲載。

問5 今年度後期の授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか。

## <A大学と全国平均との比較>

項目：授業への出席（実験・実習、オンライン授業を含む）



## <A大学の各学部と分野平均との比較>

※問5についても、問2（2～3ページ）同様、学部分野ごとにグラフ形式で掲載。

※上記項目の他、「卒業論文・卒業研究・卒業制作」、「予習・復習・課題など授業に関する学習（卒業論文等は除く）」、「授業と直接関係しない自主的な学習（学問に関する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等）」、「部活動／サークル活動」、「アルバイト／定職」についても同様に掲載。